

会 議 録

会議の名称	令和元年度第2回行田市男女共同参画推進審議会	
開催日時	令和元年10月23日(金) 開会；午前10時30分・閉会；午後0時00分	
開催場所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者(委員)氏名	田代美江子委員(会長)、山崎孝子委員(副会長)、井上委員、茂木美智代委員、今村宗雄委員、西山カツ枝委員、山岸泰輔委員、大野久美子委員(名簿順、敬称略)	
欠席者(委員)氏名	櫻井真佐美委員、大熊武文委員、高鳥和子委員、大谷春彦委員、梅田伸一郎委員、加藤修一委員、斎藤光子委員	
事務局	堀口修司(所長)、内藤和彦(主査)	
会議内容	(1) 平成30年度男女共同参画推進プラン実績に対する各課ヒアリングについて (2) 行田市男女共同参画推進事業所表彰について (3) その他	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度プラン実績：各課ヒアリング ・施策個別評価票と返信用封筒 ・平成29年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見 ・行田市男女共同参画推進事業所表彰関係資料(取扱注意) ・ぎょうだ男女共同参画フォーラム2019チラシ ・ぎょうだ男女共同参画フォーラム2019概要 	
その他必要事項	傍聴者なし	
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	令和元年 月 日	⑩

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局 田代会長 事務局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会長あいさつ ・ 欠席者の報告 ・ 配布資料の確認 <p>2 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の会議は委員の過半数が出席しており会議は成立している。 ・ 本日の会議において非公開とする事項はない。また、会議の傍聴人もいない。 ・ この後は審議会運営規則第3条に基づき田代会長に議長になっていただき、議事の進行をお願いします。
議長 (田代会長)	<p>3 議事</p> <p>次第に基づき議事を進行する。</p> <p>議事の（1）平成30年度男女共同参画推進プラン実績に対する各課ヒアリングについて、事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>(会議資料、「平成30年度プラン実績に対する各課ヒアリングについて」の説明)</p>
議長	<p>只今の事務局の説明に対して、質問等があればお願いしたい。</p>
事務局	<p>各課は投げかけた質問に対しては答えるだけの資料を持ってきているが、内容によっては資料不足で答えられない部分もあることをご承知いただきたい。</p>
議長	<p>例年ヒアリングは実施しているので委員の皆さんも承知していると思う。では、まずスポーツ振興課から始める。</p>

議長	<p>では、ヒアリングを始めさせていただく。まず、こちらからの質問について説明させていただき、それに回答いただく型式でお願いする。では、西山委員お願いする</p>
西山委員	<p>スポーツ振興課は評価がCとなっているが、もっと高い評価をつけてもいいと思い質問をさせてもらった。そして、その回答結果が年間を通して多くのイベントを実施しているということだったので、そのイベント数を教えていただきたい。</p>
議長	<p>今の質問に対しての回答をお願いします。</p>
スポーツ振興課長	<p>年間のイベント数ということでだが、4月の鉄剣マラソンから始まって6月に昇仙峡ウォーキングを実施した。年間通すと8事業ほどが通年のイベント数であるが、今年度は市制施行70周年記念ということで、例年なかった大きい事業を3つ実施予定である。昨年度からその準備に取り掛かっているので、合計で11事業計画されている状況である。</p>
議長	<p>只今の説明を聞いて関連して委員の皆さんから何かあればお願いしたい。</p>
西山委員	<p>私も今説明のあった中でいくつかの事業には参加させていただいているが、それを見て常々もっと高い評価をつけてもよいのではと思います、今回の質問をさせていただいた。</p>
山崎副会長	<p>8事業から11事業に増えたということだが、それぞれの内容について具体的に伺いたい。</p>
スポーツ振興課長	<p>4月に鉄剣マラソン、6月には昇仙峡ウォーキング、また同じ6月に指導者を対象にした講習会を実施している。さらに6月に行田市綱</p>

	<p>引き大会、8月には小学生を対象にラジオ体操の普及事業、10月には市民体育祭、12月に駅伝大会、年が明けて2月に縄跳び大会を実施している。これで8事業である。これ以外に70周年記念事業として、今年4月には大相撲行田場所を開催した。また、夏にはNHKの巡回ラジオ体操会で生放送を行った。11月には宝くじスポーツフェアではつらつママさんバレーボール大会を予定している。これで11事業となる。また、それとは別に共催事業として11月3日に毎年彩の国実業団駅伝をやっている。2月には埼玉県の駅伝大会もあり、それにも協力している。このように年間を通すと相当数の事業になる。</p>
山崎副会長	<p>今年の鉄剣マラソンは何名くらい参加したのか。</p>
スポーツ振興課長	<p>申し込みは4520名であった。</p>
山崎副会長	<p>当日の参加者は。</p>
スポーツ振興課長	<p>参加者は3900名ほどであった。</p>
議長	<p>西山委員の評価についての回答として、各種事業についての、その目標人数に達しなかったので評価を低くしたという意味か。</p>
スポーツ振興課長	<p>想定より少ない参加と回答したのは、イベントの参加者ではなく職員対象の各種研修会に業務が多忙であったことから職員が参加することが少なかったということで評価した。</p>
西山委員	<p>それでCの評価としたのか。</p>
スポーツ振興課長	<p>当課で関わっている各種大会等には、男女関係なく多くの方に参加していただいているので、イベント自体には問題はないと考えているが、職員として各種研修会に積極的に参加できなかったということで</p>

西山委員	<p>ある。</p> <p>イベントは本当に多くの方が参加しているので、何故評価がCなのかと不思議に思い質問させていただきました。</p>
議長	<p>今の説明を聞いていると忙しすぎて研修会への参加が難しいような状況だが、それを改善していく方策とか見通してみたいなものがあれば伺いたい。</p>
スポーツ振興課長	<p>ここ数年は、先ほど申し上げたように70周年記念の事業もあってさまざまな業務が重なっていた。今年度でそれらの事業も終わるので、来年度からは通常業務に戻り現在よりも余裕ができて研修会にも参加できると思う。</p>
山崎副会長	<p>スポーツ振興課の職員は何人か。</p>
スポーツ振興課長	<p>私を含め6人である。</p>
議長	<p>本日のような説明を聞けるところに、このヒアリング実施の意味があると思う。私たちにとっても大変プラスになることである。他には何かあるか。</p>
山崎副会長	<p>鉄剣マラソンの参加者は年々増えているようだが、陸王などのドラマの影響もあるのか。</p>
スポーツ振興課長	<p>それもあると思う。昨年度の大会が一番多くて800人増加し4544人であった。今年度は4520人でほぼ昨年と同じであった。</p>
山崎副会長	<p>行田市をPRするととてもいいイベントだと思う。</p>

議長	他に何かあるか。なければスポーツ振興課のヒアリングはこれで終了させていただく。業務ご多忙の中、ご協力いただき感謝申し上げます。
議長	次に進んでよろしいか。では早速だが防災安全課のヒアリングを開始させていただく。まず、質問者から質問させていただき、回答いただいた後、質疑応答をお願いします。
山崎副会長	行田市の防犯団体の増加について、また、女性の視点の反映について、それから、今回の台風の被害、これからの行田市の防災についての取り組みを具体的にお伺いしたい。
防災安全課長	行田市のこれからの防災対策の取り組みについて説明させていただく。先日発生した台風19号は、行田市においても、向町、緑町を中心に浸水被害が発生しており、10月21日17時現在の速報値では、住居の床上浸水が62件、床下浸水が190件、その他自動車の浸水など、多数の被害が報告されている。市では、災害が発生した時や発生の恐れがある時は市役所内に災害対策本部を設置して情報収集、応急対策にあたっている。また、避難が必要な場合には市内に52箇所ある指定避難所を開設し、防災行政無線や緊急速報メール等、さまざまな方法を活用して市民に避難勧告や避難指示をお知らせしている。台風19号でも市内の39箇所に指定避難所を開設した。この39箇所というのは、ハザードマップ等での浸水想定によると、荒川や利根川が氾濫した場合には使えない避難所があり、それを除いて39箇所を開設したものである。開設の周知方法については、緊急速報メールや防災無線を使ってお知らせした。今後も引き続き防災訓練などを通じて自助共助公助の理念の普及、啓発に努めながら各地区に設置されている自主防災組織の育成・強化に取り組んでいきたい。また、併せて災害備蓄品の計画的な整備を進めるとともに、公共団体や民間事業所との応援協定、災害時の応援協定の締結にも積極的に取り組んでいきたいと考えている。

議長	<p>丁寧な説明に感謝申し上げます。只今の説明について何か質疑はあるか。</p>
山崎副会長	<p>今回の台風19号の避難時に常用している菓を飲むのに必要な水が避難所になかったという事例もあったと伺っている。今回の教訓を活かして備蓄倉庫の中身をもう一度確認し、数量についてもハザードマップの地域に合わせるなど万全を期した対応を取り組んでいただけたらありがたい。</p>
議長	<p>他に何かあるか。</p>
西山委員	<p>先ほどの備蓄倉庫であるが、今までは地震対応の備蓄倉庫として学校の校庭の隅などに設置されていたが、今回のような水害に関しては2階や3階などへ備蓄倉庫を設置する必要もあるのではないか。</p>
議長	<p>本日は、男女共同参画推進審議会なので、先ほどかなり詳細な取り組みについて説明をお聞きしたが、そこで当初の質問と関わるが女性の視点としてはどのように考えているのか、それについて補足していただきたいのと、パトロール車に女性が搭乗することで子どもの安全に配慮できるということが、女性の視点と考えているという回答だが、その点が少し疑問に感じたのでそれについてももし補足があれば伺いたい。</p>
防災安全課長	<p>防災に関しては、自治会や自主防災組織を対象にした訓練、あるいは講座等、女性の方にも多くの参加をお願いして年々女性の参加者も増加している。そうした中でアンケートを実施し今後の防災対策に活かしていきたいということで女性の視点を取り入れているところである。そうした中で、昨年あたりから哺乳瓶やミルク等の備蓄も進めている。また、防犯については、青色回転灯式のパトロール車に地域防犯推進員に巡回をお願いしているが、</p>

	<p>推進員にも女性の割合がかなり増えており、女性が乗ることで男性には気づかないようなことにも気づきがあり、さまざまな指摘やアドバイスをいただいている。そうしたことで女性の視点を活かした対応ができているものと考えている。</p>
<p>議長</p>	<p>女性が訓練に参加してアンケートを実施し、そこから重要なポイントや課題をきちんと抑えられていることはよいことだと思うが、女性でないと気づかないということでは困るので、子どもの防犯という部分に関しては、女性の視点という角度からは少し違うのではないかと感じる。ぜひとも今後の取り組みについて、回答いただいたようなことを積み重ねてパトロールに関しても、何に配慮したらいいのか、女性だけではなく男性にも共有してもらうような形になればよいと思う。</p> <p>他にあるか。</p>
<p>大野委員</p>	<p>男性の参加についてであるが、こうした防犯に参加できる年齢層はどんな団体も高齢者が多い。若年層の参加は難しいと思うが、その点についてはどうなのか。</p>
<p>防災安全課長</p>	<p>特に年齢制限は設けていないが、実際に高齢者の方が多いのが現状である。その中で、パトロール車を運転するのは、例えば75歳以下に限るなどの基準は設けてないが、最近では高齢者の運転の事故も増えているので、そうした点についても配慮しながら進めている。</p>
<p>山岸委員</p>	<p>行田市で自主防犯活動している団体が150くらいだと思う。それで活動している人数がおおよそ3000人ほど。そのうち女性の割合がどれくらいなのか、他の市町村と比較して行田市の人口の割合からみて、人数的にどのくらいがベストなのか、もしわかれば教えていただきたい。</p>

防災安全課長	<p>自主防犯の団体について、市で把握しているのは団体組織があるということだけである。人数が何人くらいいるか、組織構成、女性が何人いるとか、そこまでは報告を求めている。あくまでも自主的にやっており、それに対して、例えば緑色のベストとか、そうしたものを配布して支援している。詳細は把握していないのでここではお答えできない。</p>
議長	<p>それについて今後把握される予定はあるのか。</p>
防災安全課長	<p>あくまで自主的なことなので、そこまで求めるのは難しいと思われる。あまり市が関わると動きづらくなる面もあるので、その辺の把握は今後も特にする予定はない。あくまで団体数と人数だけである。</p>
議長	<p>人数の男女比も把握していただくのがいいのでは。</p>
防災安全課長	<p>防犯に対することでそこまで求める必要があるのかどうかである。</p>
議長	<p>その部分が先ほど触れた女性の視点についてという部分に関わってくると思うが。</p>
防災安全課長	<p>そこは、あくまでも自主的にやっているところに、市として支援をしているのであって、男女比がどうかなどを求めた場合に団体側に見れば、何故そこまでのことが必要なのかということになる。</p>
議長	<p>上からの指導みたいなものは必要ないと思うが、把握の責任は行政にはあるかと思う。そういうところが先ほど大野委員から高齢者ばかりという意見が出たが、どこの地区も同じような課題を抱えておりその解決にも繋がると思う。もし可能であれば今のような質問に答えられるように把握していただければありがたい。今のこの話も私たちは指導するような立場ではなく、あくまで市民として意見を述べる団体</p>

	<p>なのでお願いと思って聞いていただきたい。</p>
<p>防災安全課長</p>	<p>ご意見として伺わせていただく。</p>
<p>議長</p>	<p>このような機会があると私たちにも実情が分かり会議に出席するのにも意欲が湧いてくる。防災安全課について特にないようなのでこれでヒアリングを終了させていただく。本日は業務ご多忙の中、ご協力いただき感謝申し上げます。</p>
<p>議長</p>	<p>次に子ども未来課のヒアリングを始めさせていただく。始めに質問者から簡単に説明し、それに回答いただく型式で、その後、意見交換ができればと思うのでよろしく願います。</p>
<p>井上委員</p>	<p>本日は質問した委員が欠席なので代わりに私が説明させていただく。質問は平成29年度評価CだったものがBになった理由と支給額の内容について伺いたいというものである。給付金については、29年度と比較し支給対象者数が5名、支給額が2,582,344円増加し、ひとり親家庭の自立の促進が図れたためとなっているが、給付金ごとの内容について教えてほしい。この2種類の給付金で何人増えたか、いくら増えたかについて、また、自立支援教育給付金を支給した講座の内容について教えてほしいというものである。</p>
<p>子ども未来課 根岸主幹</p>	<p>では、まずこの給付金は、高等技能訓練促進給付金というもので、専門学校等の養成機関に通って就労に役立つ資格を取得するための給付金である。この高等技能については、平成30年度合計で7人の方に給付金を支給している。支給額は合計で6,392,000円で月々の給付金の合計である。また、修了期間を終えた方には修了一時金として別途給付金が支給され、2名で75,000円である。この2つの合計で6,467,000円となる。それとは別に自立支援教育訓練給付金があり、これは専門学校等に通うのではなく通信教育等</p>

	<p>の講座を受講した場合の給付金で30年度2名の方に支給している。こちらが合計で61,344円になる。この自立支援教育訓練給付金の講座内容は、介護福祉士の資格取得が1名、医療事務資格が1名である。</p>
議長	<p>では、今の回答を踏まえて他に何か質疑があるか。</p>
井上委員	<p>この給付金は厚生労働省の管轄のものか。それとも市の福祉課の管轄か。</p>
子ども未来課 根岸主幹	<p>この給付金は、ひとり親家庭が対象なので子ども未来課の管轄である。</p>
井上委員	<p>ひとり親家庭について、母子家庭が受給したケースしか知らないが、父子家庭も対象となるのか。</p>
子ども未来課 根岸主幹	<p>父子家庭も対象となる。ただ実績としては母子家庭だけである。</p>
井上委員	<p>承知した。それと、この高等技能訓練促進給付金は1ヶ月の支給額が決まっていると思うが教えてほしい。</p>
子ども未来課 根岸主幹	<p>所得状況で異なるが、市民税非課税世帯は月額10万円で今年度からは制度が変わって専門学校の最終学年の方は最後の1年間は4万円上乗せで14万円の支給である。市民税の課税世帯は、月額70,500円で最終学年は最後の1年間4万円上乗せで110,500円である。</p>
井上委員	<p>この高等技能訓練促進給付金についての予算は国からの補助か。市単独の制度か。</p>

子ども未来課 根岸主幹	この事業は国庫補助の対象であり、4分の3が国の負担で市の負担が4分の1である。
井上委員	ひとり親家庭でこの制度を利用した場合に、埼玉県にも貸付金の制度があると思うが、それは父子家庭も利用できるのか。
子ども未来課 根岸主幹	この給付金の受給者が県の貸付金の対象になるので父子家庭も利用できる。
山崎副会長	こうした制度があることを知らなかった。市民の中には知らない方が多いのではないか。周知の方法などはどのようにしているのか。
井上委員	私は仕事柄知っていたが、この制度の存在がどのように広がるのかというと、シングルマザーが子どもを保育園に預けていて、母親同士のコミュニケーションから情報が広がると聞いている。
井上委員	このした制度がない自治体はあるのか。
子ども未来課 根岸主幹	県内ではほとんどが実施しているが、中には実施のない市町村もあると思う。
議長	今の話だと情報弱者といわれるような方たちに情報が届くかどうかそれが課題になってくると思う。重要なお指摘だと思う。 他に何かあるか。
山崎副会長	先ほどの説明で修了した方には75,000円がプラスされて6,467,000円になったとあったが、あと残りの5名はどうなっているのか。

子ども未来課 根岸主幹 山崎副会長	まだ在学中である。 了解した。
議長	修了後の状況等は把握しているのか。
子ども未来課 根岸主幹	現在は追跡調査は実施していない。今年度卒業される方を対象に追跡調査を実施したいと考えている。
議長	他にあるか。特にないのでこれで子ども未来課のヒアリングを終了する。業務ご多忙の中、ご協力に感謝申し上げます。
議長	では、福祉課へのヒアリングを始める。大野委員からお願いする。
大野委員	相談機能の充実を図ることを目標としているが、平成30年度は現状維持に留まったためDとした。引き続き相談機能の充実を図っていききたいということだが具体的に教えていただきたい。
福祉課長	行田市の相談支援センターは、行田、加須、羽生の埼玉3市で設置し共同運営している。この事業は、毎年順調に推移しておりこの事業自体に問題があるとは認識していない。何故評価をDにしたかということだが、行田市の現在の障害者計画に基づくと、相談支援事業については令和2年度に基幹型相談支援センターを設置するという計画になっている。このセンターについては現状での運営形態の3市での共同設置を引き継いでいきたいと考えているが、3市が足並みを揃えていくのに時間が掛かっているのが正直なところである。この基幹型相談センターの設置が計画通りに令和2年度中の設置については、現在の進捗状況からは難しいものと考えていることから過日の調査の段階では評価をDとした

	<p>ものである。引き続き、この相談センターについては3市で設立に向けて協議を進めているところであり、少しずつであるが準備作業は進捗しつつあるので、次年度には設置できるように現在3市の担当者と話を進めている。ただ、それぞれの自治体の予算等の関係もあり今後はその辺を詰めていき、できるだけ早めに設置できるよう目指しているところである。そうした観点から今回評価をDとしたものである。</p>
議長	<p>今の説明を聞いていて目標自体に無理があって、それに合わせて評価しているのかと思ったが、そうではなく時間的に令和2年度の設立は難しいが、それに向けては努力しているという理解でよろしいのか。</p>
福祉課長	<p>令和2年度中は難しいが、次年度に設置できるよう3市が足並みを揃えて進めたいと考えている。そのとおりである。</p>
議長	<p>そうすると定期的に会議を開いて目標に向けて調整されているということによろしいか。</p>
福祉課長	<p>担当者は毎月集まって常に情報交換をしながら進めている。</p>
議長	<p>評価としてDがついていると、ほとんど実績がないような感じを受けるが、ヒアリングを実施すると実情がわかり、審議会としても資料からだけでは読み取れない部分もある。</p>
福祉課長	<p>この相談支援センター自体の設置についての自己評価は、やはり基幹型に移行するのが重要だという理解をして評価させていただいた結果である。その前の項目については障害者の自立支援に向けた相談機能の強化ということで、こちらは順調に進んでいるのでBという評価にさせていただいた。</p>

議長	了解した。他に何かあるか。
井上委員	相談センターで基幹型というのはどういう意味か。
福祉課長	国の方でそうした名称で位置づけられたものである。
井上委員	いくつかの機関が連携してやっていくのか。
福祉課長	そういうことである。さまざまな機関と連携を図りながら調整していくこれまでの相談支援センターよりももっと高度な機能を持ったものである。
山崎副会長	具体的にどの市に設置するのかは決まっているのか、
福祉課長	設置場所については、3市にそれぞれ設置してもいいし、国の方から広域で設置してもよいことになっている。具体的な設置場所はこれからである。
議長	現在だと相談センターでの相談について、すべて対応してきたものが今後スムーズになる可能性が期待できると思う。
福祉課長	そうした部分について期待している。
議長	他にあるか。なければこれで福祉課のヒアリングを終了する。本日は業務多忙の中、ご協力に感謝する。
議長	では、今後の予定について事務局に説明を求める。
事務局	今後の予定について、本日配布してある施策個別評価票に基づき、平成30年度実績に対する審議会の評価及び意見をまとめる

	<p>ことになる。本日の担当課ヒアリングも参考にさせていただき、配布した主要施策及び個別評価表に記入いただき、11月6日までにご提出をお願いしたい。</p>
山崎副会長	<p>11月6日では締め切りが早すぎるのでは。</p>
事務局	<p>では、1週間ずらして13日までをお願いしたい。</p>
議長	<p>記載方法等は大丈夫か。</p>
事務局	<p>資料として記入例があるので、ご参考にさせていただきコメント、意見をいただきたい。</p>
議長	<p>では、次に(2)行田市男女共同参画推進事業所表彰について事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>(2)行田市男女共同参画推進事業所表彰について説明。</p>
議長	<p>全国規模のりそな銀行ではなく、地元の事業所の方がいいと思う。皆さんから何か質問があれば出していただきたい。なければ審議会としても表彰に相応しい事業所として了承することになる。</p>
山岸委員	<p>従業員数で男性のパート、アルバイトが空白になっているが、0人ということか。</p>
事務局	<p>空白なので0人だと思う。</p>
議長	<p>他にはあるか。</p>

議長	資料の一番下に取り組みの結果、女性管理職の割合が男性を上回る結果になった。2017年の段階では男女の構成が違っていたのが現在このような数字になったということか。
事務局	その辺の細かい部分については聞き取りができていないが、元はネクストグローバルという会社から分離して2017年に設立したということなので、前段があって現在を迎えているのだと思う。
議長	でも、そういう男女共同参画に理解のある事業所から応募があったのは意義のあることだと思う。
山崎副会長	仕事と家庭の両立というところから男女共同参画の視点に合っている事業所として相応しいのではないか。
議長	ではご承認いただいた。次に(3)その他について事務局に説明を求める。
事務局	まず1点、今年度の男女共同参画フォーラム2019が12月14日に開催される。年末の忙しい時期になるが当日は審議会委員の皆さんにもご協力いただきたいのでよろしくお願いします。
議長	何か質問等あるか。よろしいか。
西山委員	私は民協連合会からの推薦でこちらに出させていただいているが、11月30日で民生委員を辞めるので12月1日からは後任の方となる。この審議会には長いことお世話になった。
山岸委員	私も今年一杯で青年会議所から卒業になる。

議長	そうすると評価、意見を審議するときには違うメンバーが協議するみたいな形になるのか。
事務局	推薦母体の役員が代わってしまうとそういうことになる。
議長	それでは、最終的な評価を出すときにまったくわからない方が今までの委員と一緒に議論しなければならなくなってしまう。その辺の仕組みについては考えてもらいたい。
西山委員	今までの経緯のわからないまったくの新しい方をお願いするのは難しいかと思う。
議長	次のことについて事務局の説明を求める。
事務局	次の審議会の日程調整だが、暮れの忙しい時期で恐縮だが、こちらで候補日としているのが、12月17日（火）、19日（木）20日（金）の3日間の内で調整させていただきたい。
議長	17日（火）の午前中が、皆さん都合がよさそうなので、その日程で予定してほしい。
山崎副会長	14日のフォーラムの運営協力で委員が何を担当するか決めておいたほうがよいのでは。
議長	何かやりたい担当はあるか。
山崎副会長	司会は私がやらせていただく。
議長	あとはどんな仕事があるのか。

山崎副会長	受付と花束贈呈。
事務局	花束贈呈は昨年井上委員に担当していただいた。
井上委員	今年は違う方をお願いしたい。
茂木委員	私は受付でお願いしたい。
井上委員	では、私も受付を。
茂木委員・山崎副会長	花束は大野委員にお願いできればと思う。
議長	皆さんの協力体制は素晴らしいと思う。本日はまだ今村委員の声を聞いていないが、今日のヒアリングはどうだったか。
今村委員	市役所の業務内容について、ヒアリングを行うとより理解を深めることができる。よいことだと思う。なかなかこうした機会はない。
議長	茂木委員の感想はどうだったか。
茂木委員	やっぱり、来ていただいて直接聞くことによって、なるほどと思うようなことが多くすごくいい機会だと感じた。
議長	他に何か意見、質疑等あるか。ないようなので議長の職を解かせていただく。
事務局	田代会長には、長時間の議長職に感謝申し上げます。では、閉会のことばを山崎副会長にお願いする。

山崎副会長

閉会のことば

--	--